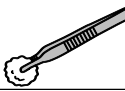


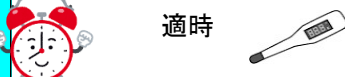
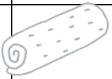
開腹手術

月日	入院日	手術前日	(手術前) 手術当日 (手術後)		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。	主治医より手術の予定、目的などについて説明があります。同意書もお渡ししますので、署名をし、ナース・ステーションに提出してください。麻酔科医がお伺いして、麻酔や手術前の食事や水分をいつまで摂ってよいかなどの説明をします。	手術に出る時間までにご家族の方に来てもらってください。	主治医より手術の結果について説明があります。					看護師より退院後の生活について説明があります。 主治医より退院後の外来受診や服薬などについて説明があります。記入の必要な書類は早めに持参してください。
検温	適時  14時		6時・手術室へ行く前	帰室時 1,2,3,6時間後それ以後翌日10時まで4時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時・14時	14時	14時
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けてください。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。		尿道留置カテーテルを抜きます。ポータブルトイレにて排泄をします。	尿量の測定は終了です。		
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。背中に硬膜外チューブが、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血があります。 8時に酸素の投与を中止します。医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。朝・夕の抗生剤の点滴もあります。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿があります。	創部の抜糸がある場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。内診があります。
準備	必要物品を買って来てください。 マジックテープ式腹帯3枚 サイズ()・T字帯2枚・ナブキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナブキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみにしてください。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。						
投薬	内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出ください。	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後は喉の痛みに対し、トロージを渡します。	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返します。				
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。体の向きは、看護師が介助して変えます。	ベッドサイドに立ってかまいません。最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。	
食事	制限ありません。	屋食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。	
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。着替えもします。 	体を拭くタオルをお持ちします。出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。トイレでウォッシュレットをご使用ください。	(術後4日目～) シャワー浴が開始となります。		

広汎子宮全摘術

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。 	担当医師より手術の予定、目的などについて説明があります。 同意書をお渡ししますので、署名をし、ナース・ステーションに提出して下さい。 麻酔科医師がお伺いして、麻酔や手術前の食事や水分をいつまで、摂ってよいかなどの説明をします。 	手術に出る時間までにご家族の方に来てもらってください。	担当医師より手術の結果について説明があります。 				看護師より膀胱体操について説明があります。 	看護師より退院後の生活について説明があります。 リンパ浮腫の予防について説明します。 担当医師より退院後の外来受診や服薬などについて説明があります。記入の必要な書類は早めに持参して下さい。	
検温	適時 	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1.2.3.6時間後、それ以後、翌日6時まで4時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時・10時・14時・19時	6時・14時	14時		
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けて下さい。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。	医師の指示まで尿道留置カテーテルは入ったままです。排便時はトイレまで歩けます。尿道留置カテーテルを抜いた後は、尿量の測定をしてください。排尿後に、膀胱に尿が残っていないか看護師が管で尿をとり確認します。医師の許可があれば、尿量の測定を終了します。					
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。背中に硬膜外チューブが、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。点滴は医師の指示まで持続で実施します。	採血があります。  8時に酸素の投与を中止します。医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。朝・夕の抗生剤の点滴もあります。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿があります。	創部の抜糸がある場合があります。 	(術後6日目) 採血・採尿があります。内診があります。	
準備	必要物品を買って来て下さい。 マジックテープ式腹帯3枚 サイズ()・T字帯2枚・ 夜用ナプキン1袋	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 T字帯1枚、腹帯1枚、体温計、 ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみにしてください。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。							
投薬	持参されたお薬を一時お預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出下さい。 	麻酔科医師の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。 	術後は喉の痛みに対し、トローチをお渡しします。 	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。					
安静	 制限はありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限はありません。		
食事	制限はありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医師の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。 	昼から全粥になります。 	昼から普通食になります。 		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		 医師の許可があれば、シャワー浴が開始となります。 		

開腹手術リンパ節郭清あり

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。	主治医より手術の予定、目的などについて説明があります。 同意書もお渡ししますので、署名をし、ナース・ステーションに提出してください。 麻酔科医がお伺いして、麻酔や手術前の食事や水分をいつまで摂ってよいかなどの説明をします。	手術に出る時間までにご家族の方に来てもらってください。 	主治医より手術の結果について説明があります。 						看護師より退院後の生活について説明があります。 リンパ浮腫の予防について説明します。 主治医より退院後の外来受診や服薬などについて説明があります。記入の必要な書類は早めに持参してください。
検温	 適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1・2・3・6時間後 それ以後翌日10時まで4時間毎(指示有り)	10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時・14時	14時	14時	
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けてください。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。		尿道留置カテーテルを抜きます。 ポータブルトイレにて排泄をします。	尿量の測定は終了です。			
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に硬膜外チューブが、お腹にドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血があります。 8時に酸素の投与を中止します。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続です。 朝・夕の抗生剤の点滴もあります。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿があります。	創部の抜糸がある場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 内診があります。	
準備	必要物品を買って来て下さい。 マジックテープ式腹帯3枚 サイズ() T字帯2枚 ナブキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナブキン1袋、パンツ1枚、T字帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみにしてください。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。							
投薬	内服している薬は続けて服用して下さい。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出ください。	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。 	術後は喉の痛みに対し、トローチを渡します。 	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限ありません。		
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		(術後4日目～) シャワー浴が開始となります。		

腹腔鏡併用腔式子宮全摘術

	入院日	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。 	主治医より手術の予定、目的などについて説明があります。 同意書もお渡ししますので、署名をし、ナース・ステーションに提出してください。 麻酔科医がお伺いして、麻酔や手術前の食事や水分をいつまで摂ってよいかなどの説明をします。	手術に出る時間までにご家族の方に来てもらってください。	主治医より手術の結果について説明があります。 						看護師より退院後の生活について説明があります。 主治医より退院後の外来受診や服薬などについて説明があります。記入の必要な書類は早めに持参してください。 
検温	 適時  14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1・2・3・6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎(指示有り)	6時 10時 14時 19時	6時 10時 14時 19時	6時 14時	14時	14時		
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	術前は尿量の測定を続けてください。	手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。	尿道留置カテーテルを抜きます。歩けるようなら病棟内トイレにて排泄をします。尿量の測定を続けてください。		尿量の測定は終了です。			
処置		おへそのそうじをします。 陰毛のカットをします。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に硬膜外チューブが、お腹にドレーンが付いている場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血、採尿があります。 8時に酸素投与を中止します。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。 医師の診察があります。創の消毒をします。 点滴は夕方まで持続です。	お腹のチューブを抜きます。 背中に入っている痛み止めのチューブも抜きます。	採血、採尿があります。 	創部の抜糸がある場合があります。	(術後6日目) 採血、採尿があります。 医師の診察があります。	
準備	必要物品を買って来てください。 T字帯1枚・ナプキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみにしてください。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。							
投薬	内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤内服が出来ますのでお申し出ください。 	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服があります。	術後は喉の痛みに対し、トローチを渡します。 	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。 					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	病棟内トイレまで歩けます。 最初は看護師がそばで見守ります。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。			
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		シャワー浴が開始となります。 		